

## 第2回(平成20年度)受賞者の紹介

明治初期建築の田中邸・加藤邸



⑤ 田中邸

⑥ 加藤邸

⑤ 田中 愛子氏  
(田中邸の保存活動)

⑥ 加藤 まゆ氏  
(加藤邸の保存活動)

⑦ 飯塚 光永氏  
(「笹屋うどん」の保存活動)



⑦ 行徳名物の「笹屋うどん」跡

行徳旧街道沿いに建ち並んでいた歴史的建造物が失われていく中、これを後世に残すことが地域にとって大切であるという思いから保存に努めている。

行徳を語る上で重要なこれらの建築物が保存されていることにより、当時の風俗や風情を偲ばせる貴重な財産となっている。



⑧ 大屋 好成氏  
青山 恒夫氏  
(青山邸の改修工事)



昭和2年造営の青山邸の改修に当たり、伝統的な手法や材料を用いることにより、往時の面影が再び感じられるようになった。また、大屋氏は、行徳地区の歴史的建物等の調査研究を続け、その継承に努めている。



⑨ 市川市原木西浜  
土地区画整理組合  
(土地区画整理による景観等整備事業)



無秩序な土地利用により景観上も問題となっていた地域について、土地区画整理事業により良好な就業環境にある流通業務地の形成と都市機能の確保に努めた。また、周囲に桜の木を植栽し、景観に配慮した街づくりに貢献している。



⑩ 竹内 一雄氏  
(竹林等の維持管理活動)



竹林、栗林、梨畑等の広大な土地を所有し、これを適切に維持管理することにより良好な自然景観を保全している。これらは、市北部の代表的な景観を形づくっており、近隣の住民にも親しまれている。